

社会資本総合整備計画 事後評価シート

◇安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)

平成28年11月

福岡県福岡市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	福岡県	市町村名	福岡市	計画の名称	安全・安心を支える緑づくり		
計画期間	平成25年度～平成26年度	事後評価実施時期	平成28年度	全体事業費	6,943百万	国費率	1/3, 1/2

1) 事業の実施状況	対象事業	要素事業名					
		A.基幹事業	○都市公園事業(西南杜の湖畔公園, 今津運動公園, 東平尾公園, 南公園, 舞鶴公園) ○福岡市緑地保全事業 ○福岡市公園施設長寿命化計画策定調査 ○福岡市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業 ○福岡市吸収源対策事業 ○福岡市公園施設長寿命化計画対策支援事業				
進捗状況	A.基幹事業	B.関連社会資本整備事業	-				
		C.効果促進事業	○運動施設整備事業 ○植物園学習施設整備 ○動物園再生事業 ○公園施設改修事業				
進捗状況	A.基幹事業	その他関連する事業	-				
		要素事業名	事業内容(延長・面積等)	事業進捗(H26年度末時点)	次期計画		
1) 事業の実施状況	進捗状況	A.基幹事業	○都市公園事業(西南杜の湖畔公園)	用地取得(0.7ha)園路, エントランス広場整備	一部完了 (H25より社交金から移行)	実施予定	
			○都市公園事業(今津運動公園)	球技場, 硬式野球場整備	一部完了 (H25より社交金から移行)	実施予定	
			○都市公園事業(東平尾公園)	バリアフリー化施設整備 (陸上競技場改修, エレベーター設置等)	一部完了 (H25より社交金から移行)	実施予定	
			○都市公園事業(南公園)	バリアフリー化施設整備 (マレーグマ舎園路整備)	完了 (H25より社交金から移行)	-	
			○都市公園事業(舞鶴公園)	用地取得(0.34ha)	完了	実施予定	
			○福岡市公園施設長寿命化計画策定調査	長寿命化計画の策定	完了	-	
			○福岡市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業	公園施設のバリアフリー化(39公園) 改築, 更新(54公園)	一部完了	実施予定	
			○福岡市吸収源対策公園緑地事業	新たな都市公園の整備(2公園)	着手のみ	実施予定	
			○福岡市公園施設長寿命化計画対策支援事業	遊戯施設等の改修(90公園)	一部完了	実施予定	
			B.関連社会資本整備事業	-	-	-	
			C.効果促進事業	○運動施設整備事業	全天候型多目的グラウンド整備, スコアボード改築, 便所改築	完了 (H25より社交金から移行)	実施予定
				○植物園学習施設整備事業	園内サイン・植物解説板等	完了 (H25から防災・安全へ移行)	-
				○動物園再生事業	入口部道路改修, エントランス複合施設設計・整備	一部完了	-
				○公園施設改修事業	遊戯施設以外の公園施設改修(120公園)	一部完了	実施予定
その他関連する事業	-	-	-	-			
2) 事業の効果発現状況	成果目標の達成状況 ※算定対象	指標名	当初現況値 (H22年度)	目標値 (H26年度)	実績値 (H26年度)	結果の分析及び目標値と実績値に差が出た要因	
		地域の防災が充実していると感じる市民の割合	24.0%	29.0%	39.3%	災害時の避難場所となる公園の整備や既存公園のバリアフリー化など防災機能の強化を図ったこともあり, 目標値を達成できた。	
		地域の子供が安心して遊べると感じている市民の割合	61.0%	67.0%	62.9%	高度成長期の昭和40～50年代に設置した多くの都市公園施設が更新の時期を迎えており, 福岡市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業等により, 老朽化した施設の改修を順次実施しているが, 目標値を達成できていない。	
		ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると感じる市民の割合	31.0%	34.0%	39.3%	福岡市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業等により, 市民の身近な公園のバリアフリー化を図ったこともあり, 目標値を達成できた。	
	吸収源対策事業において温室効果ガス吸収源に資する公園緑地の総量	1,327ha	1,375ha	1,350ha	温室効果ガス吸収源に資する公園緑地の新規整備を進め, 総量は平成22年度当初よりは増加したものの, 公園が充足していない地域もあり, 目標値を達成できていない。		
成果目標以外の要素事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・都市公園事業について, 比較的大規模な公園を整備することにより, 市民の休息, 鑑賞, 散歩, 運動等総合的な利用に資する公共空間の創出。						
効果促進事業の効果発現状況 (定性的な効果)	・植物園学習施設整備について, 園内のサインや植物解説板等を外国語表記に更新することにより, さらなる植物園の魅力や外国人の集客効果が向上。 ・動物園再生事業について, 入口部道路の動線改良やバスケット等を整備することで, 利用者のアクセスと利便性が向上。						
3) その他	今後の方針	・緊急時の避難場所となるオープンスペースを確保するため, 新たな公園の整備を進める。 ・子供や高齢者が安全・安心に公園を利用できる様, 引き続き, 便所や園路のバリアフリー化を計画的に進めていく。 ・公園施設長寿命化計画に基づき, 公園施設の計画的な改修・更新を進め, 地域の公園で子供が安心して遊べると感じてもらえる様, 公園の整備に取り組んでいく。					

「風格ある緑豊かな環境共生都市・福岡」の成果概要

事業の目的	成果指標	当初現況地	目標値	実績値 (H26年度末)
みどりによる都市の防災、減災対策を推進するため、災害時等に避難場所となる公園・緑地の整備を進める。また、誰もが安全・安心に公園を利用できる環境整備を行うため、公園施設長寿命化計画を策定し既存施設の計画的な維持管理・更新を図るとともに、現在、バリアフリーに対応していない既存施設の改修を行い公園内のユニバーサルデザイン化を目指す。	地域の防災が充実していると感じる市民の割合	24.0%	29.0%	39.3%
	地域の子供が安心して遊べると感じている市民の割合	61.0%	67.0%	62.9%
	ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると感じる市民の割合	31.0%	34.0%	39.3%
	温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量	1,327ha	1,375ha	1,350ha

A1 基幹事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
A-1	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(西南社の湖畔公園)	用地取得(0.6ha)、園路広場整備						1,775	H25より社交金から移行
A-2	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(今津運動公園)	球技場、硬式野球場整備等						1,035	H25より社交金から移行
A-3	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(東平尾公園)	バリアフリー化施設整備 (陸上競技場改修、エレベーター設置等)						255	H25より社交金から移行
A-4	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(南公園)	バリアフリー化施設整備 (マレーグマ舎園路整備)						107	H25より社交金から移行
A-5	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○都市公園事業(舞鶴公園)	用地取得(0.34ha)						1,880	
A-6	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市公園施設長寿命化計画策定調査	長寿命化計画の策定						195	
A-7	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市安全・安心対策緊急総合整備事業	公園施設のバリアフリー化(39公園)、改築・更新(54公園)						3,346	H25より社交金から移行
A-8	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市吸収源対策公園緑地事業	新たな都市公園の整備(2公園)						176	
A-9	公園	一般	福岡市	直接	福岡市	○福岡市公園施設長寿命化計画対策支援事業	遊戯施設等の改築(90公園)						426	
合計												9,195		

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業														
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
								H22	H23	H24	H25	H26		
C-1	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	運動施設整備事業	雁の巣リノベーションセンター施設整備 (全天候型多目的グラウンド、スポーツコート等)						569	H25より社交金から移行
C-2	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	植物園学習施設整備	園内サイン・植物解説板等						10	
C-3	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	動物園再生事業	入口部道路等改修、複合施設サービス部整備等						194	
C-4	施設整備	一般	福岡市	直接	福岡市	公園施設改修事業	遊戯施設以外の公園施設改修(120公園)						612	
合計												1,385		

主な事業効果

- ・都市公園事業については、エレベーターの設置等によるバリアフリー化、大規模な公園の整備による災害時に避難場所となるオープンスペースの創出による防災対策の充実。
- ・公園施設長寿命化計画策定調査および公園施設長寿命化計画対策支援事業については、計画的な施設の改修・修繕を行うための公園施設の長寿命化計画の策定および実施による施設の長寿命化。
- ・安全・安心対策緊急総合支援事業については、老朽化した施設の更新や便所等のバリアフリー化による、子供や高齢者が安全・安心に利用できる公園の創出。
- ・吸収源対策公園緑地事業については、市民に身近な公園を新たに整備することにより、温室効果ガス吸収源に資する緑の創出。

社会資本総合整備計画 事後評価

◇安全・安心を支える緑づくり(防災・安全)

平成28年11月

福岡県福岡市

○交付金の概要・変遷

○平成22年度，国土交通省所管の地方公共団体向け個別補助金を一つの交付金に一括し，地方公共団体にとって自由度が高く，創意工夫を生かせる総合的な交付金として**社会資本整備総合交付金**を創設。

○平成25年度，**防災・安全交付金**によりインフラ再構築（老朽化対策，事前防災，減災対策）及び生活空間の安全確保の取組を集中的に支援。

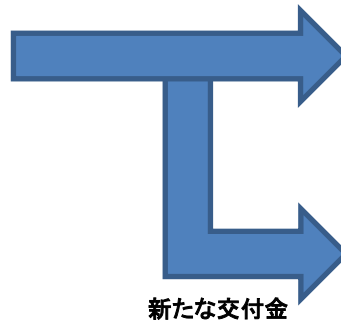
H22～H24

H25～H26

H22年度創設

**社会資本整備
総合交付金**

都市公園・
緑地等事業



新たな交付金

**社会資本整備
総合交付金**

成長力強化や地域活性化等につながる事業

H25年度創設

**防災・安全
交付金**

「インフラ再構築」，
「生活空間の安全確保」

- ・防災公園の整備
- ・施設のバリアフリー化
- ・老朽化した施設の更新等

社会資本整備総合計画(市街地整備)

2. 「安全・安心を支える緑づくり」(防災・安全社会資本整備交付金)

■ 計画期間(交付期間) : 平成25年度～平成26年度

■ 全体事業費 : 6,943百万円

【計画目標】

みどりによる都市の防災、減災対策を推進するため、災害時等に避難場所となる公園・緑地の整備を進める。また、誰もが安全・安心に公園を利用できる環境整備を行うため、公園施設長寿命化計画を策定し既存施設の計画的な維持管理・更新を図るとともに、現在、バリアフリーに対応していない既存施設の改修を行い公園内のユニバーサルデザイン化を目指す。

定量的指標の現況値及び目標値

成果指標	算定根拠	当初現況値	目標値
		(H24年度当初)	(H26年度末)
① 地域の防災対策が充実していると感じる市民の割合	第9次福岡市基本計画の成果指標に関する基礎調査による	24%	29%
② 地域の公園で子供が安心して遊べると感じている市民の割合	第9次福岡市基本計画の成果指標に関する基礎調査による	61%	67%
③ ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると感じる市民の割合	市政アンケートによる	31%	34%
④ 温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量	実績値	1,327ha	1,375ha

※ユニバーサルデザインとは

年齢、性別や国籍、障害の有無等を問わず、すべての人が自由に快適に利用でき、行動できるような思いやりあふれる配慮を、まちづくりやものづくりなどのあらゆる場面で、ハード・ソフトの両面から行っていこうとする考え方のこと。

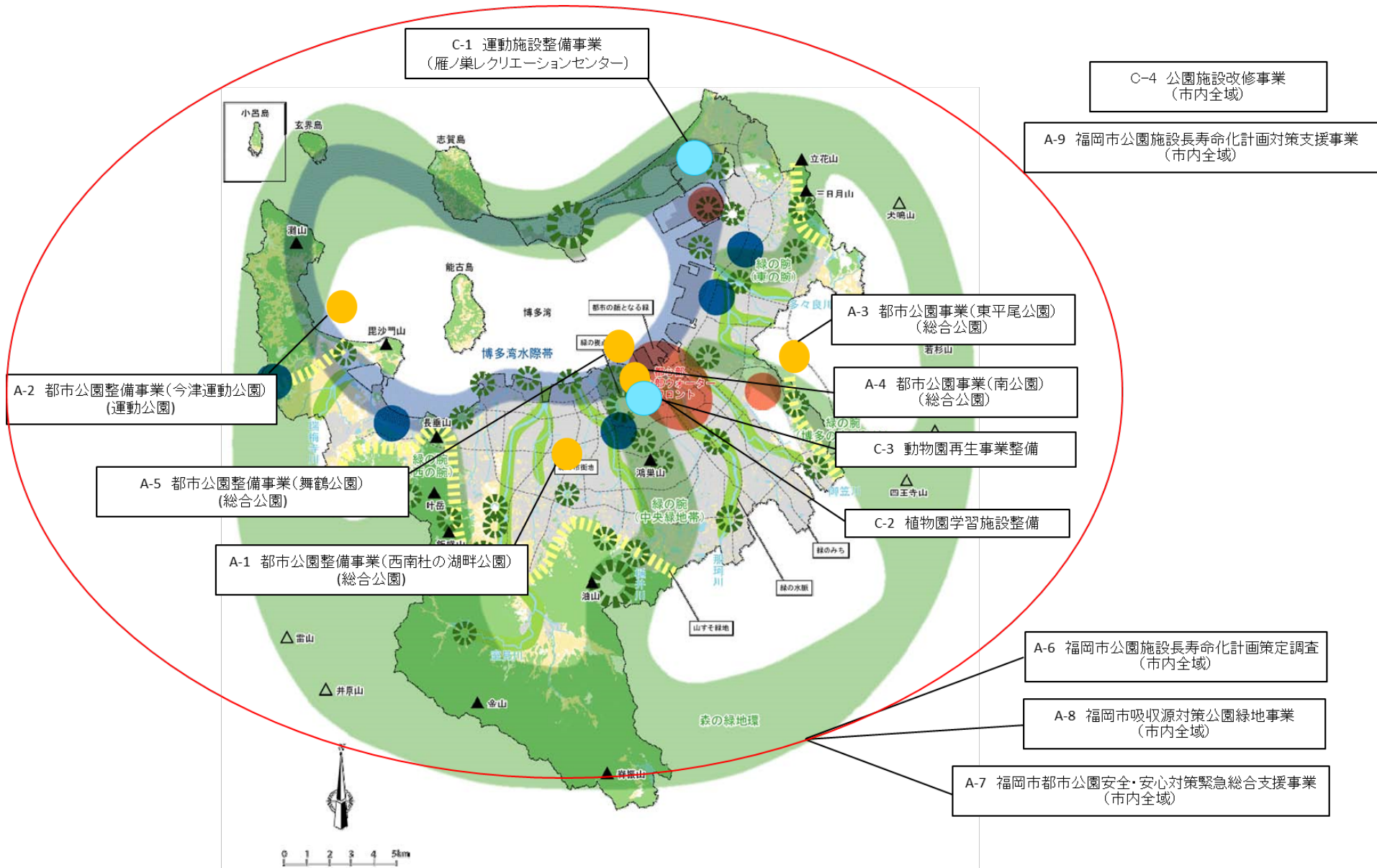
交付対象事業の進捗状況

区分	要素事業名	番号	計画内容	計画事業費 (百万円)	事業進捗	H22~26年度 事業費 (百万円)	達成率	備考
基幹事業 (※1)	西南杜の湖畔公園	A-1	用地取得 (0.7ha), 園路, エントランス広場整備	1,775	一部完了 (用地取得:0.6ha, エントランス広場整備)	718	41%	H25年度より社交金から移行
	今津運動公園	A-2	球技場, 硬式野球場整備	1,035	一部完了 (球技場, 硬式野球場一部整備)	616	60%	H25年度より社交金から移行
	都市公園事業 東平尾公園	A-3	バリアフリー化施設整備 (陸上競技場改修, エレベーター設置等)	255	一部完了 (エレベーター設置)	44	18%	H25年度より社交金から移行
	南公園	A-4	バリアフリー化施設整備 (マレーグマ舎園路整備)	107	完了 (マレーグマ舎園路整備)	104	100%	H25年度より社交金から移行 事業費の残は契約落差等
	舞鶴公園	A-5	用地取得 (0.34ha)	1,880	完了 (用地取得:0.34ha)	1,710	100%	事業費の残は契約落差等
	福岡市公園施設長寿命化計画策定調査	A-6	長寿命化計画の策定	195	完了	162	100%	事業費の残は契約落差等
	福岡市都市公園安全・ 安心対策緊急総合支援事業	A-7	公園施設のバリアフリー化 (39公園), 改築・更新 (54公園)	3,346	一部完了 (便所のバリアフリー化:9公園, その他改築・更新:48公園)	2,051	62%	H25年度より社交金から移行
	福岡市吸収源対策公園緑地事業	A-8	新たな都市公園の整備 (2公園)	176	着手のみ (新たな都市公園の整備:2公園)	90	51%	
	福岡市公園施設長寿命化計画対策支援事業	A-9	遊戯施設等の改築 (90公園)	426	一部完了 (遊戯施設等の改築:67公園)	174	41%	
小計 (A)				9,195		5,669	62%	
効果促進事業 (※2)	運動施設整備事業	C-1	全天候型多目的グラウンド整備, スコアボード [*] 改築, 便所改築	569	完了 (全天候型屋根付きグラウンド整備, スコアボード 改築, 便所改築)	553	98%	H25年度より社交金から移行
	植物園学習施設整備事業	C-2	園内サイン・植物解説版等	10	完了	110	100%	
	動物園再生事業	C-3	入口部等道路改修・ エントランス複合施設設計・整備	194	一部完了 (入口部道路改修, エントランス複合施設設計)	100	52%	
	公園施設改修事業	C-4	遊戯施設以外の公園施設改修 (120公園)	612	一部完了 (遊戯施設以外の公園施設改修:112公園)	511	84%	
小計 (B)				1,385		1,274	92%	
合計 (A)+(B)				10,580		6,943	66%	

※1: 基幹事業とは、計画目標を実現するために実施する基幹的な事業

※2: 効果促進事業とは、基幹事業と一体となってその効果を一層高めるために必要な事業 (全体事業費の20/100を目途)

交付対象事業の位置図



整備効果事例

1. 都市公園事業



【西南社の湖畔公園】エントランス広場整備



【東平尾公園】エレベーター設置(バリアフリー対応)

2. 長寿命化計画策定調査

○予防保全型管理

- ①劣化や損傷を未然に防止しながら長持ちさせる
- ②更新費が高額なため補修により機能を維持する。
 - ・遊具, 健康遊具
 - ・パーゴラ等
 - ・便所, 管理事務所
 - ・スポーツ照明等

○中間型管理

- ①日常的な維持管理を行い, 機能しなくなった段階で取り換える
- ②代替がきかない施設で, 更新費が高額でない施設。
 - ・ベンチ, 縁台
 - ・フェンス, 階段等

○事後保全型管理

- ①一部破損があっても日常点検により状態を監視するもしくは部分的な修理を行う管理
- ②代替がきき破損しても公園利用が可能な施設
 - ・舗装, 車止め
 - ・排水施設, 給水施設

健全度調査実施

ライフサイクルコスト(LCC)の縮減を図る

従来通りの管理

従来通りの管理

3. 安全・安心対策緊急総合支援事業

【施工前】



【施工後】



【多田羅大橋公園】便所建替(身障者対応へ)

4. 長寿命化計画対策支援事業

【施工前】



【施工後】



計画に基づいて改修・更新

【福重1号公園】遊戯施設の更新

5. 運動施設整備事業(効果促進)



【雁ノ巣レクリエーションセンター】全天候型グランド整備

【 主な事業効果の発現状況 】

1. 都市公園事業については, 大規模な公園の整備とともに, エレベーターの設置によるバリアフリー化や老朽化した施設の更新を行い, オープンスペースの確保のほか, 公園の防災機能の向上を図った。
2. 公園施設長寿命化計画策定調査については, 計画的な施設の改修・修繕を行うために公園施設の長寿命化計画を策定した。
3. 安全・安心対策緊急総合支援事業については, 老朽化した施設の更新や便所等をバリアフリー化することにより, 子供や高齢者が安全・安心に利用できる公園整備を行った。
4. 吸収源対策公園緑地事業については, 市民に身近な公園を新たに整備することにより, 緑の総量を増やし温室効果ガス吸収源対策に資する緑が担保された。
5. 公園施設長寿命化計画対策支援事業については, 公園施設長寿命化計画に基づいた施設の更新を行い, 地域の公園で, 子供が安心して遊べる公園整備を行った。

最終目標値の実現状況

成果指標		当初現況値 (H24年度当初)	目標値 (H26年度末)	実績値 (H26年度末)	達成状況
①	地域の防災対策が充実していると感じる市民の割合	24.0%	29.0%	39.3%	○ 災害時の避難場所となる公園の整備や既存公園のバリアフリー化など防災機能の強化を図ったこともあり、目標値を達成できた。
②	地域の公園で子供が安心して遊べると感じている市民の割合	61.0%	67.0%	62.9%	× 高度成長期の昭和40～50年代に設置した多くの都市公園施設が更新の時期を迎えており、福岡市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業等により、老朽化した施設の改修を順次実施しているが、目標値を達成できていない。
③	ユニバーサルデザインの取り組みが進んでいると感じる市民の割合	31.0%	34.0%	39.3%	○ 福岡市都市公園安全・安心対策緊急総合支援事業等により、市民の身近な公園のバリアフリー化を図ったこともあり、目標値を達成できた。
④	温室効果ガス吸収源対策に資する公園緑地の総量	1,327ha	1,375ha	1,350ha	× 温室効果ガス吸収源に資する公園緑地の新規整備を進め、総量は平成22年度当初よりは増加したものの、公園が充足していない地域もあり、目標値を達成できていない。

今後の方針

〇みどりによる都市の防災，減災対策を推進するため，災害時等に避難場所となる公園・緑地の整備を進める。また，誰もが安全・安心に公園を利用できる環境整備を行うため，公園施設長寿命化計画に基づき，既存施設の計画的な維持管理・更新を図るとともに，施設のユニバーサルデザイン化を図り，目標値の達成に向けた整備を進めていく。

- ・ 緊急時の避難場所となるオープンスペースを確保するため，新たな公園の整備をすすめる。
- ・ 子供や高齢者が安全・安心に公園利用できる様，引き続き便所や園路のバリアフリー化を計画的に進めていく。
- ・ 公園施設長寿命化計画に基づき，公園施設の計画的な改修・更新を進め，地域の公園で子供が安心して遊べると感じてもらえる様，整備に取り組んでいく。